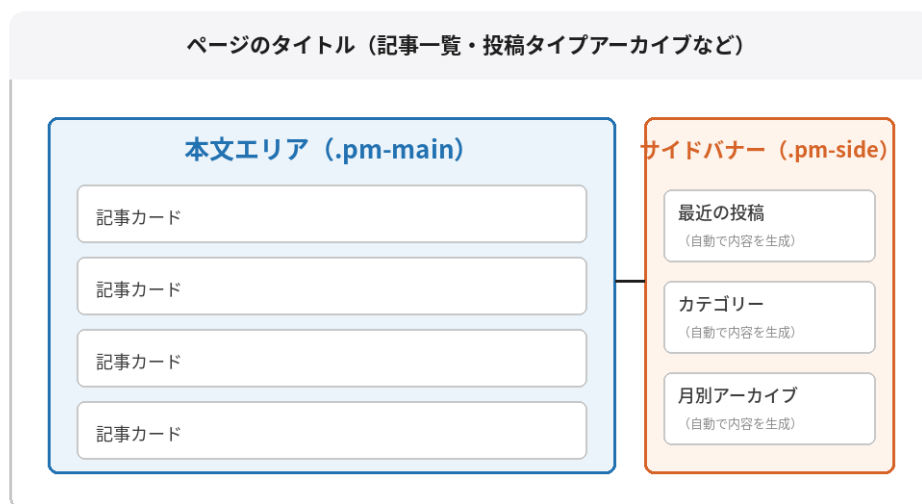


Portal Manager Lite

操作マニュアル（初心者向け・図解入り）

対応バージョン：v0.12.8



Portal Manager Lite が作る「本文＋サイドバナー」の2 カラムレイアウト

目次

この章では本マニュアルの構成を紹介します。

1. このマニュアルについて
2. Portal Manager Lite でできること
3. 管理画面の基本の場所
4. はじめての設定：3ステップ
5. 投稿タイプ管理
6. 表示設定（投稿タイプ別）
 - 6-1. アーカイブ（一覧ページ）の見た目
 - 6-2. サイドバー（最近の投稿・カテゴリー・アーカイブ）
 - 6-3. カスタムフィールド（記事ごとの追加情報）
7. サイト全体の設定（テーマ）
8. よくあるトラブルと対処法
9. 用語ミニ辞典

1. このマニュアルについて

このマニュアルは、WordPress プラグイン「Portal Manager Lite」を初めて使う方向けに、管理画面の操作方法を図解つきで説明するものです。専門用語は最小限にし、実際の設定画面に近いイメージ図を使って手順を紹介します。

なお、掲載している画面イメージは実際のデザインを簡略化した「操作イメージ図」です。実際の管理画面とは配色やレイアウトが多少異なりますが、項目名・操作の流れは実物と一致しています。

💡 対象読者

- ・ WordPress の基本操作（ログイン、投稿の作成）ができる方
- ・ プラグインの詳しい仕組みは分からなくても大丈夫です

2. Portal Manager Lite でできること

Portal Manager Lite は、どんなテーマ（デザインテンプレート）を使っているとしても、記事の一覧ページに「本文+サイドバナー」の2カラムレイアウトを表示できるプラグインです。サイドバナーには「最近の投稿」「カテゴリー」「月別アーカイブ」が自動で表示されます。

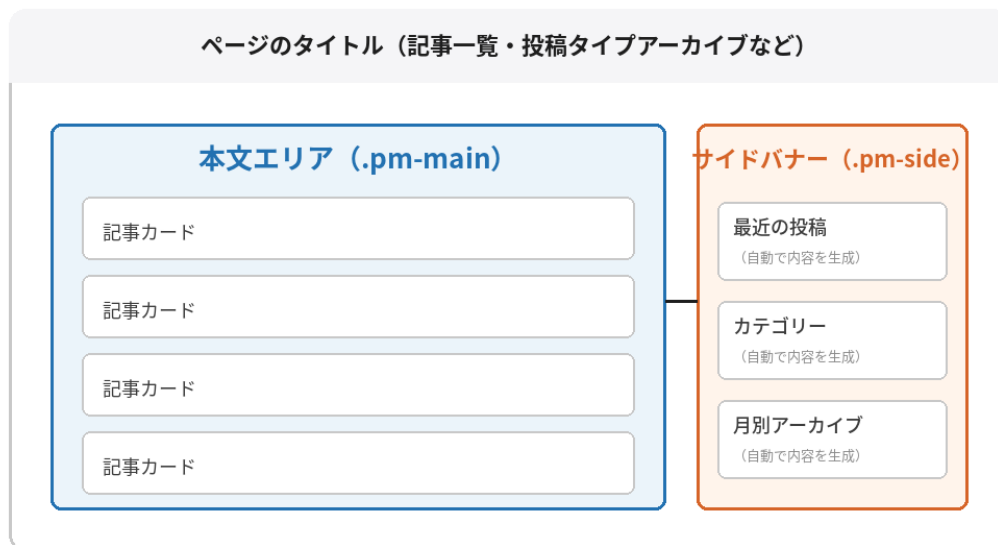


図1：2カラムレイアウトの構成

主な機能は次の4つです。

- ・ 投稿タイプ管理：「施工例」「お知らせ」のような独自のコンテンツの種類を作れます
- ・ アーカイブ表示設定：一覧ページの見た目を「カード」「メディア」など4種類から選べます
- ・ サイドバー表示設定：「最近の投稿」などの見出し・件数・デザインを調整できます

- カスタムフィールド：記事ごとに「施工金額」などの追加情報を入力・表示できます

3. 管理画面の基本の場所

WordPress にログインすると、左側のメニューに「Portal Manager Lite」という項目が追加されています。この中に3つの設定画面がまとまっています。

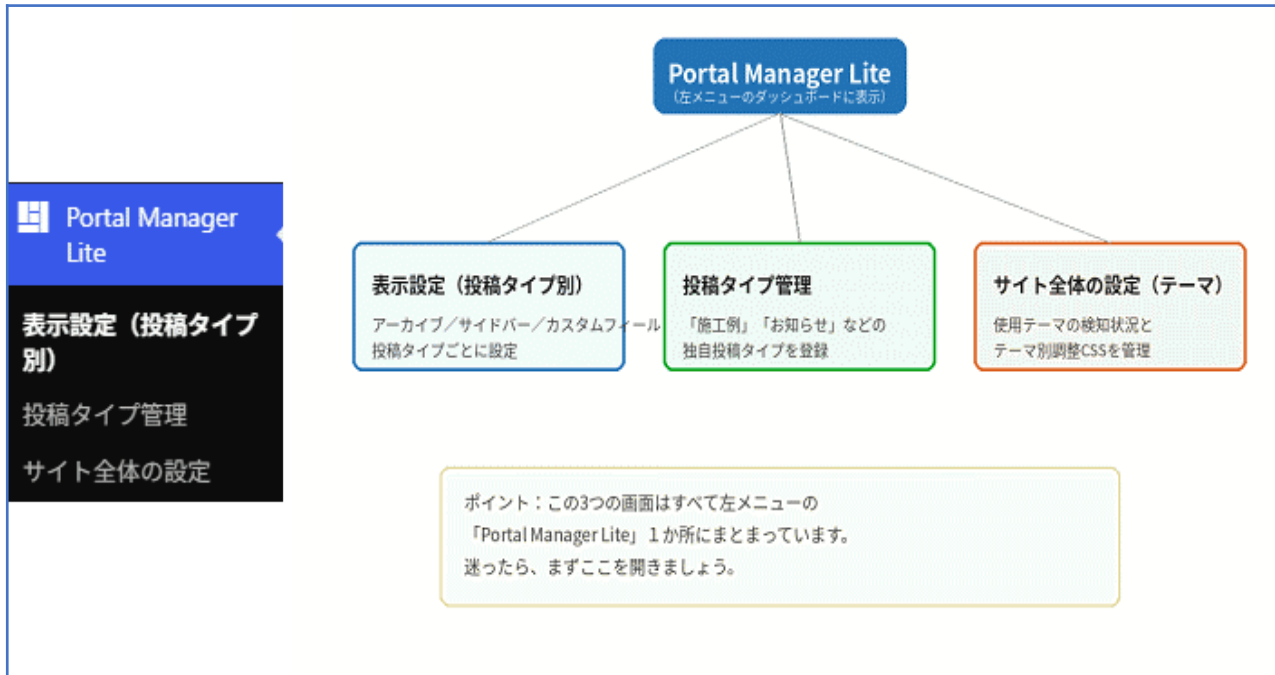


図2 : Portal Manager Lite のメニュー構成

画面名	できること
表示設定 (投稿タイプ別)	アーカイブ・サイドバー・カスタムフィールドの見た目を設定
投稿タイプ管理	「施工例」「お知らせ」などの独自コンテンツを登録
サイト全体の設定 (テーマ)	使用中のテーマの検知状況の確認・調整用 CSS の追加

4. はじめての設定：3ステップ

初めて使うときは、次の3ステップで進めるとスムーズです。

設定の流れ（はじめての3ステップ）

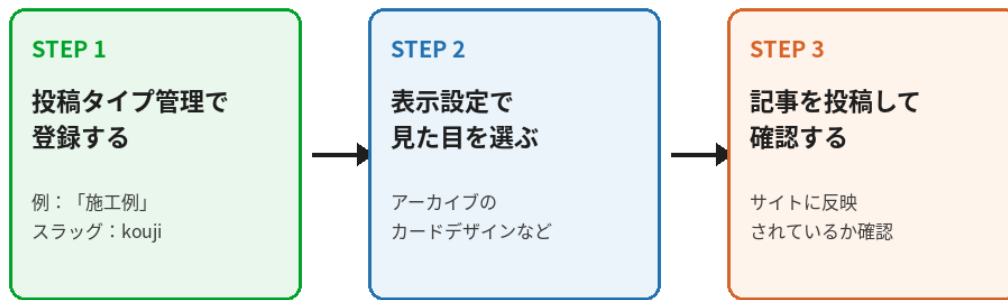


図3：初期設定の流れ

1. 「投稿タイプ管理」で、載せたいコンテンツの種類（例：施工例）を登録する
2. 「表示設定（投稿タイプ別）」で、一覧ページやサイドバーの見た目を選ぶ
3. 実際に記事を投稿し、サイトの表示を確認する

それぞれの手順を、次の章から詳しく説明します。

5. 投稿タイプ管理

「投稿タイプ管理」では、WordPress 標準の「投稿」以外に、会社独自のコンテンツの種類（カスタム投稿タイプ）を作ることができます。例えば工務店であれば「施工例」、店舗であれば「メニュー」といった具合です。

投稿タイプ管理

ここで追加した投稿タイプは、自動的にWordPressへ登録されます。保存するとパーマリンクの再構築も自動で行われるので、手動での操作は不要です。

投稿タイプ名	スラッグ	アーカイブURL	操作
施工例	works	https://test.ddm-cosmo.com/plugin_test/works/	削除
NEWS	news	https://test.ddm-cosmo.com/plugin_test/news/	削除

+ 新規追加

保存

図4：投稿タイプ管理画面（名前とスラッグを入力）

操作手順

- 「名前」欄に、管理画面に表示したい名前を入力します（例：施工例）
- 「スラッグ」欄に、URL で使う半角英数字を入力します（例：kouji）
- 複数登録したい場合は「+ 行を追加」で行を増やします
- 「変更を保存」ボタンを押します

保存すると、自動的にサイトの URL 設定（パーマリンク）も更新されます。手動でパーマリンク設定を開き直す必要はありません。

💡 スラッグを決めるときの注意

- ・半角の英数字とハイフンのみを使ってください（日本語や記号は不可）
- ・一度使ったスラッグは後から変更すると、過去の記事の URL が変わってしまうため注意しましょう
- ・登録すると、その投稿タイプ専用のカテゴリー（タクソノミー）も自動で作成されます

6. 表示設定（投稿タイプ別）

「表示設定（投稿タイプ別）」は、登録した投稿タイプごとにタブが分かれていて、タブを切り替えながら【アーカイブ】【サイドバー】【カスタムフィールド】の3つを設定できる画面です。

6-1. アーカイブ（一覧ページ）の見た目

記事一覧ページ（カテゴリーページや投稿タイプの一覧ページなど）に表示される、記事カードのデザインを設定します。



アーカイブの表示タイプ（4種類から選べます）



図5：選べる4つの表示タイプ

表示タイプ	特徴
カード	画像・タイトル・日付などを枠線付きのカードで表示
カード（枠線なし）	カードと同じ内容だが、枠線を付けずすっきり表示
メディア	画像を小さめに、横並びでコンパクトに表示
1行テキスト	画像を使わず、タイトルのみをリスト表示

設定できる主な項目は次の通りです。

- ・ 表示タイプ：カード／カード（枠線なし）／メディア／1行テキストから選択
- ・ カラム数：パソコン表示時に1列に何件並べるか（1～6列）
- ・ 1ページの表示件数：一覧に表示する記事数
- ・ 表示する要素：画像・日付・抜粋文・カテゴリーのチェックボックス
- ・ 抜粋の文字数：抜粋を表示する場合の文字数

スマホでの見え方

- ・ カラム数を多く設定しても、スマホなど画面が狭い場合は自動的に1列に切り替わります
- ・ レイアウトが崩れて見える場合は、まず画面の横幅を実際に狭めて確認してみてください

6-2. サイドバー（最近の投稿・カテゴリー・アーカイブ）

記事一覧ページ・個別記事ページの横に表示される「サイドバー」の内容を設定します。表示中の投稿タイプに応じて内容が自動的に切り替わります（例：施工例のページでは「最近の施工例」が表示される）。

サイドバーに表示する内容

- ☒ 最近の投稿
- ☒ カテゴリー
- ☒ アーカイブ（年別／月別）

全てOFFの場合、本文が全幅表示になります（.pm-side自体を出力しない設計）。

表示設定（投稿タイプ別）→【サイドバー】

最近の投稿を表示する

☒ チェックあり

表示スタイル

カード（サムネイル/タイトル/日付/カテゴリ）

見出しラベル

最近の施工例

表示件数

5

カテゴリを表示する

☒ チェックあり

月別 / 年別アーカイブ

☐ 月別 ☒ 年別

サイトでの表示イメージ

最近の施工例

施工例タイトル
2026.07.20・新築

施工例タイトル
2026.07.20・新築

施工例タイトル
2026.07.20・新築

図6：サイドバー設定画面と、サイトでの表示イメージ

設定できる主な項目は次の通りです。

- 最近の投稿を表示する：オン／オフの切り替え
- 表示スタイル：「日付/カテゴリ/タイトル」または「カード（サムネイル付き）」の2種類
- 見出しラベル：サイドバーに表示する見出し文言（例：最近の施工例）
- 表示件数：サイドバーに表示する記事数
- リンク先 URL・表記テキスト：「もっと見る」のようなリンクを追加する場合に設定
- カテゴリを表示する：オン／オフと見出しラベル
- アーカイブの種類：月別 または 年別
- アーカイブの表示形式：リスト または プルダウン（選択式）

6-3. カスタムフィールド（記事ごとの追加情報）

カスタムフィールドは、記事本文とは別に、決まった形式の追加情報を入力できる項目です。例えば施工例の「施工金額」「工事期間」、店舗メニューの「価格」などを、投稿編集画面に専用の入力欄として追加できます。

【カスタムフィールド】投稿ごとの追加情報

ここで定義した項目は、各投稿の編集画面に入力欄として追加されます。値の入力は投稿の編集画面（メタボックス「カスタムフィールド（Portal Manager Lite）」）で行います。「カードに表示」はデザインが「カード」の時だけアーカイブカードに反映されます（「カード（枠線なし）」「メディア」「1行テキスト」には反映されません）。「画像」「ファイル」はメディアライブラリから選択します。「プルダウン」「チェックボックス」「ラジオボタン」は選択肢を1行に1項目ずつ入力してください。左端の ≡ をドラッグするか、右側の ↑ ↓ ボタンで順序を入れ替えられます。

≡

タイプ

テキスト

☒ カードに表示

↑

↓

削除

+ フィールド追加

表示エリア（詳細ページ内）

コンテンツ下部

値が入っている項目だけが表示

アーカイブカードでの表示

☐ アーカイブカードにはカスタムフィールドを表示しない

チェックすると、各フィールドのアーカイブカードにカスタムフィールドが表示されます。このタブの投稿タイプのアーカイブカード（デザインが「カード」の場合のみ対象）からカスタムフィールドの項目がまとめて非表示になります。

新築0724新築0724新築0724新築0724新築0724

新築0724新築0724新築0724新築0724新築0724新築0724新築0724新築0724

タイプ

2階建て

規模

～200㎡

画像

現場見学会

無

取扱企業

123

備考

123

123

123

図7：カスタムフィールドの設定と、記事編集画面での見え方

設定できる項目の種類は次の8つです。

種類	用途の例
テキスト	短い文字（例：担当者名）
複数行テキスト	長めの説明文
URL	外部サイトへのリンク
画像	メディアライブラリから画像を選択
ファイル	PDFなどのファイルを添付
プルダウン	選択肢から1つを選ぶ

種類	用途の例
チェックボックス	複数の選択肢から選ぶ
ラジオボタン	選択肢から 1 つを選ぶ（一覧表示）

操作手順

8. 「+ 項目を追加」をクリックします
9. 「項目名」に表示名（例：施工金額）を入力します
10. 「種類」を選びます（画像を選んだ場合は表示サイズも選択できます）
11. プルダウン・チェックボックス・ラジオボタンの場合は「選択肢」を 1 行に 1 つずつ入力します
12. 「表示位置」で、記事本文の上／下のどちらに表示するか、または表示しないかを選びます
13. 一覧ページのカードにも表示したい場合は「カードに表示する」にチェックを入れます

カスタムフィールドのポイント

- ・「カードに表示する」にチェックした項目は、一覧ページのカードにも表示されます
- ・「アーカイブカードにはカスタムフィールドを一切表示しない」を選ぶと、個別ページには表示しつつ一覧では非表示にできます

7. サイト全体の設定（テーマ）

このプラグインは、使用中のテーマ（デザインテンプレート）を自動で判別し、テーマごとの表示崩れ対策を自動的に適用します。「サイト全体の設定（テーマ）」画面では、その判定結果の確認と、万一表示が崩れた場合の調整ができます。

サイト全体の設定（テーマ）

現在のテーマ：swell（自動検知・検証済み）

サイドバー・アーカイブの表示内容は投稿タイプごとになるため、「Portal Manager Lite > 表示設定」で投稿タイプ別に設定してください。このページは、テーマの検出・調整用CSSなど、投稿タイプに関係なくサイト全体に関わる設定のみを扱います。

事前に、このプラグインを使うページ・投稿タイプは、テーマ側の設定で「1カラム・サイドバーなし・全幅（または中央寄せ）」にしておいてください。プラグインはそこの中に本文+サイドバーの2カラムを描画します。

テーマ別調整CSS

新しいテーマで表示が崩れる場合、プラグイン本体の更新（新しいzipの配布）を待たずに、ここにCSSを追加するだけでその場で反映されます。`@layer pm-protect { }`で自動的に囲んで出力するので、セレクトと宣言（例：`.pm-layout { flex-wrap: wrap; }`）だけ書けばOKです。カード写真枠の縦横比など、プラグインの核心部分（`pm-baseレイヤー`の`!important`）はここからは書きできない設計になっています。

対象テーマ swell（現在検知中のテーマ用）

追加CSS

```

/* ===== SWELL専用：新築TOPへ戻るボタンの上部マージン調整 ===== */

/* パターンC：直前の画像側から間隔を作る場合（Aが効かない場合の代替） */
.pm-container img:last-of-type,
.pm-layout figure:last-of-type {
    margin-bottom: 20px !important;
}

```

空欄で保存すると、このテーマ用のCSSを削除します。

このテーマ用のCSSを保存

登録済みのテーマ別CSS一覧

現在保存されているテーマ別調整CSSの一覧です。「現在のテーマ」と表示されている行が、上の「追加CSS」欄と同じ内容です。

テーマ	内容	操作
astra	/* Astra対策CSS（テーマスラッグ：astra） 「テーマ別調整CSS」欄にそのまま貼り付けてください。 【今回DevToolsで確認できた本当の原因】 main.site-main の中の .ast-row が、Astraのグリッド型ブログレイアウト用の flexコンテナになっている。本来はここに「1記事＝1カラム」の子要素	削除

サイト全体の設定（テーマ）とトラブル対応の流れ

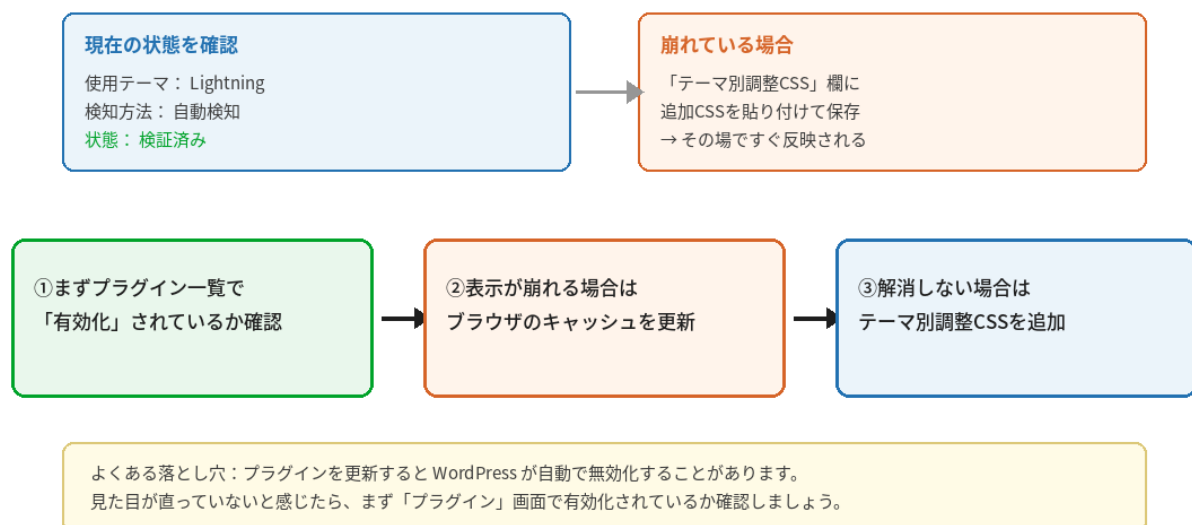


図8：テーマの検知状況の確認と、崩れたときの対応の流れ

この画面で確認・設定できることは次の3つです。

- ・現在のテーマ名と、検知方法（自動検知／手動指定）の確認
- ・そのテーマが「検証済み」か「未検証（汎用対応中）」かのステータス確認
- ・テーマ別調整 CSS：表示崩れを直すための追加 CSS を貼り付けて保存

通常は何もする必要はありません。まれに新しいテーマや特殊なデザイン設定で表示が崩れる場合に、この画面を使います。

自動検知が正しくない場合

- ・子テーマを使っている場合など、まれに自動検知がずれることがあります
- ・その場合は画面下部の「手動でテーマ名を指定する」欄でテーマ名を直接指定できます

8. よくあるトラブルと対処法

症状	対処法
プラグインを更新したら 設定が反映されていない	WordPress は更新のたびにプラグインを自動で無効化することがあります。まず「プラグイン」一覧で有効化されているか確認してください。
サイドバーに何も 表示されない	表示するデータ（投稿や画像）が実際に登録されているか確認してください。データが空の場合、サイドバー自体が表示されない仕様です。
画像がぼやけて 表示される	元の画像の解像度が小さい可能性があります。投稿一覧の「アイキャッチ画像」列に「  解像度不足」の表示がないか確認してください。
カスタム投稿タイプの 月別アーカイブが見つからない (404)	プラグインのバージョンが変わった直後は自動で URL 設定が更新されます。それでも直らない場合は「設定 → パーマリンク設定」を開いて保存し直してください。
レイアウトが 縦に潰れて見える	テーマ独自の CSS と競合している可能性があります。「サイト全体の設定（テーマ）」画面でテーマの検証状況を確認し、必要であれば調整 CSS を追加してください。

9. 用語ミニ辞典

用語	説明
投稿タイプ	「投稿」「固定ページ」以外に作れる、独自のコンテンツの種類（例：施

用語	説明
	工例)
スラッグ	URLに使われる半角英数字の識別子
アーカイブ	記事の一覧が並ぶページ（カテゴリーページなど）
サイドバナー	本文の横に表示される「最近の投稿」などをまとめたエリア
カスタムフィールド	記事ごとに追加できる、決まった形式の入力項目
テーマ	サイト全体の見た目を決めるデザインテンプレート
パーマリンク	記事や一覧ページの URL 構造の設定

以上で「Portal Manager Lite 操作マニュアル」は終わりです。設定でご不明な点があれば、開発担当までお問い合わせください。